

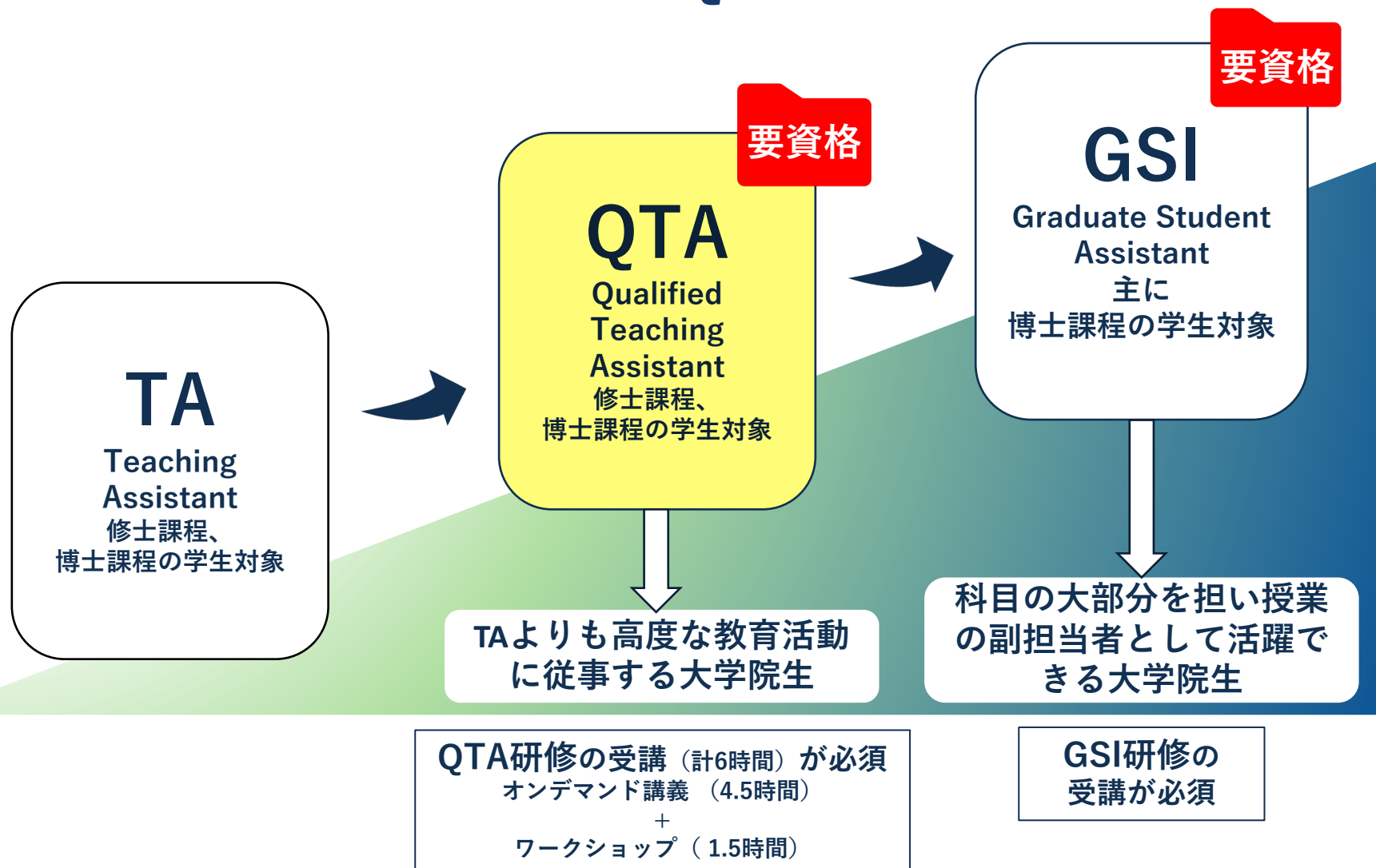
# QTA (Qualified Teaching Assistant) を知ろう

QTA・GSIトレーニングセンター / 高等教育研究センター

# QTAとは？

- **Qualified Teaching Assistant** の略称
- 科目においてTAよりも高度な教育活動に従事する授業科目担当者・支援者としての大学院生
- 対象：名古屋大学・岐阜大学に在籍する大学院生
- QTA研修の目的：QTAとして身につけるべき事柄について研修をすることで大学院生の教育力の向上を図り、その資格を認定すること
- 期待される効果
  - ・ 教育力の向上
  - ・ 「教育業績」として履歴書に記載
  - ・ 異分野の学生との交流

# 名大・岐大におけるQTAの位置付け—3つの階層



# QTAができること

● = 担当可能

主な活動内容	TA	QTA	GSI
出欠管理、教材準備・印刷、実験準備補助、使用機器の操作・調整など	●	●	●
学生への質問対応	●	●	●
演習・実験指導、グループワーク管理・運営	△	●	●
教材作成	△	●	●
授業の実施		● (一部)	●
授業全体の計画作成			●
成績評価原案作成			●

# TAとQTAの違いの図式化

QTA

TA



出欠管理



質問対応



機器操作・教材準備・  
実験準備補助



授業の実施・  
担当コマの教材 / 計画作成



演習・実験指導 / 補助



グループワーク  
ファシリテーション



プロジェクト進行  
管理・助言

TAは教員の指示のもと活動する  
⇔ QTAは主体的に考えて  
授業の運営者の立場から関わる

## ● QTAにやってほしいこと

- (1) 授業開始前に科目の計画や到達目標をシラバスで必ず確認する
- (2) 必要に応じて教員と連絡を取り打ち合わせをする

# QTAとして働くまでの流れ

1

研究科からの推薦

2

QTA・GSIセンターから研修受講の方法・案内が届く

3

QTA研修の受講

(オンデマンド動画視聴+ワークショップ+課題の提出)  
※学生によって異なる(一部免除や代替課題あり)

4

QTA資格者証の受領

5

QTAとして活動開始

当該年度内有効です。  
研修は毎年度受講する  
必要があります。

各自で科目  
担当教員との  
打ち合わせを  
行っておく

# 研修の構成

1. 学習の原理

オンデマンド（動画）  
（各1.5時間×3）

2. 授業案作成の基礎

3. 議論のファシリテーションなど（選択必修）

4. 授業ワークショップ<sup>o</sup>

オンライン または  
対面  
（1.5時間）

（計6時間）

# 研修の進め方

## 1. オンデマンド動画の視聴

- ① 動画リンクにアクセスして講義動画を視聴する。
- ② 1つの動画視聴が完了するごとに、指定されたテストや課題をクリアする。
- ③ 3種類の動画コンテンツに対応する課題（テスト含む）をすべて完了すればOK。

## 2. ワークショップへの参加

- ・ 指定された日にワークショップに参加する。
- ・ 振り返りシートを提出する。

■ 学生によっては研修の一部免除や代替のレポート課題が課されることがあります。